

# 過去の学術集会について

更新日 2023.06.02

## 第1回日本子ども食育学会学術集会

開催日 2017年7月29日

基調講演 「食卓の力」

講師 九州大学助教 佐藤剛史 先生

食事が子どもの成長にいかに関与するかをデータや映像を活用され、分かりやすく伝えて頂き、本学会の本質である「食の力」をスタートするのにふさわしいご講演でした。

## 第2回日本子ども食育学会学術集会

開催日 2018年7月28日

基調講演 「味覚教育について」

講師 千葉大学名誉教授 石井克枝 先生

視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚の“五感”を使って自分が感じた思いを自由に表現することの重要性や教育的意義についてのご講演でした。

## 第3回日本子ども食育学会学術集会

開催日 2019年7月13日

基調講演 「好き・嫌いはなぜ？～食べ物の美味しさ・まずさ、好き・嫌いの脳科学～」

講師 京都大学名誉教授 畿央大学教授 山本 隆 先生

食べる目的・味覚と脳の働き・乳幼児期における食の嗜好性についてご講演されました。大阪府教育委員会の後援や箕面市教育委員会のご協力を得て、講演には多数の方が来場され、日本子ども食育学会の活動に食育の研修・啓発を新設したきっかけになりました。

## 第4回日本子ども食育学会学術集会

開催日 2020年11月14日

基調講演 「子どもの健康脳を育むために～睡眠、疲労と意欲の連鎖～」

講師 理化学研究所上級研究員 水野 敬 先生

子どもの健康脳を育むための必須要素としての睡眠と意欲の連鎖についての講演を通して、本学会への示唆をいただきました。

## 第5回日本子ども食育学会学術集会

開催日 2021年11月6日

基調講演 「おいしさの科学と子どもの発達」

講師 甲子園大学副学長・教授 伏木 亨 先生

---

おいしさは脳で感じており、幼少期の体験が大人になってからの食嗜好に影響があるなど、「おいしさの科学」をととてもわかりやすくご講演いただきました。

## 第6回日本子ども食育学会学術集会

開催日 2022年11月12日

基調講演 「噛むことの大切さ～食と発達の観点から～」

講師 鹿児島大学病院 発達系歯科センター 小児歯科 講師 佐藤 秀夫 先生

---

食べる機能の発達段階や歯の役割について具体的な事例や動画などを交えてわかりやすくお話いただきました。離乳食の開始の目安や注意点やよく噛むことの大切さ、食事をする時の姿勢などについて、「歯学」の観点からとても丁寧にわかりやすくご講演いただきました。